八日夕刊
磐城新聞
大祭第一第三日曜
定價（一壺枝二錢、壹ヶ月一五十錢、郵税十錢）
廣告料（一行平錢指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社

盆栽の觀方に就いて

平町　山口生

盆栽の觀方を簡單に述べて見ませう、先づ最初は、樹全體の姿勢ですが種類をいひますと直幹、懸崖、双樹、寄植、石付などがあります、その形は文字通りですがどんな盆栽が優れてゐるかといふと、第一は自然の老木や大樹の姿を見るやうな心地のするもの、一つは繪畫式美觀を呈するものとでもいひませうか例へば、圓柏（俗に眞柏といふてゐます）とか

正葉松とか、杜松とかいふやうなものは幹や枝に古色を帶びてゐますし、葉も從つて小さいので僅一尺か一尺五六寸位の木でもう七八丈もあるやうな老樹や喬木を見るやうな心地しますし、つまり自然縮圖です、處が柿とか梨とか佛手柑といふやうな今の季節に見られる果實ものは幹や枝に比して非常に果實大きく

花物でも椿、山茶花などといふものは葉や花大きいので自然縮圖といふやうなわけには行きません、幹で繪に描いたやうな形を見せたり、或は投入の花も見るやうに仕立てる方がよいです、今度は一本の木に就いて申しますと第一が幹姿勢、第二が枝配置、第三が根張りですこゝに一本の杉があるとします、杉は元來スグといふものですから此杉木を曲げて懸崖にしたいとすれば、杉枝を伸ばして眞直に伸びることは本來の性質に違ひますからどんな立派に出來ても優等の盆栽とは申せません、それは人工を加へるからといふて、枝の切り口がそのまゝあらはに出てゐたり、大きな傷がついてゐたり、太さが不自然になつたりしてはいくら矢張盆栽として資格は分の備へたものとは申せません、枝たにすぎません、下枝は全體の本の三分の二の邊から出るのを普通とします、但し松などにはこれは例外がいくらもあります、それから枝が同一方面から同一方向に幾本も出たり、枝と枝とが交叉して十文字になつたり、無意義に枝がからんだりしたものも直さねばならぬのです、重なり枝、さし枝、からみ枝などと呼ばれてゐます、樹の眞直ぐ即ち幹は最も大切なものですが、

無理がないといふ處で盆栽としての資格が備はつたものです、よく公開席上に、針金をかけたり枝にテープを張つたり、腕木をつけたまゝ陳列したのがありますがこれはまだ出來上らぬものをいはせるわけなのですから注意する必要があります。

文藝

詩題　秋、騎士

酒井　尚文

秋の騎士が通ります
自然の戰に打ち敗れ
馬は奪はれ
甲と盾も奪はれて
哀れな姿で歸ります！
眞白なト衣一枚　ぼ
〈〉と
地平線に向ふに消へて行く

騎士が通ります！
通る！　通る！
騎士が——
金の凋落　甲冑に身を固め
銀　靜寂　盾を持ち
オレンヂ色の漂泊の馬に
鞭つた
騎士の行列　通ります
歸る！　歸る！
秋の騎士が歸ります
あゝ凋落、靜寂、漂泊の

若しこれがない場合は次の枝を伸ばして眞直に仕立てる方法です、此の際は矢張位付けが必要なことになるのです、ことになるのです、

講談

幕末秘話　狂怒乱心

渡邊　默雷作
宮野　歌春譜

(109)

番頭の富松とでである、勘兵衛は親の勘兵衛の敵いたのは滿足を意味し、富松の仰天は失望を意味する、爾足の餘りに勘兵衛は、富松　謀その圖に當れるなり、流石は智慧者だ先見の明があるなどいほめられても有難くない、智慧者のやうなこと、こない、根つから明が無かつたことを悔ひあつた、後妻に萬は感心させる　とばかり爲る。

「南無水月蓮夢信女、頓生菩提……ア、暑い、上から照りつけるんでやる潮がない、私も餘程物ずきだね……ア、南無阿彌陀……如命日に一回も缺かさず墓詣りをする事である。地下の眞逆今日に限つて約束を忘れるやうなこともあるまい、……南無十界唯一心一念生きた勘兵衛が既に嬉し泣をしてゐた。

六月十三日、暑い盛りである。暑いぐらひで此の大佛の日を空に過さるべきかと、お萬はいつもの如く菩提所界草門前町行安寺へ出かけた。伴は此頃抱へたばかりの新參女中に清吉といふ丁稚一人である。此の日番頭の富松も下谷邊に取引があつて、朝から店を出てゐた。

東本願寺前の菊屋橋まで來たとき萬はお伴の女中と丁稚に向つて、こゝいふ時となければ氣樂に遊べぬかならず時分まで淺草の奥山をぶらつくか、猿若町の芝居でも立見をしてこい、最も家には秘密だよと言ひ聞けて小遣錢までやつた二人は顯つたり叫つたり如才ない內儀さんだと大喜びで飛んで去つた。

門前　茶屋からしきみ線香などを持たせて行安寺へ此の際は矢張位付けが必要なことになるのです、

「オホ……濟まないねえ」富松は墓の前にしやがん實入を腰から取つてかちと火をすつた

「ヱヱ、待つてましたとも、下谷の方は何でもない事ですから直ぐ片付けて了つて、先刻からあそこに、ソレ湯殿場の前に立ちづくしの空を眺めてボカアンさ、お墓と睨めつくらの鴉に糞を引かけられるなんぞア餘り氣の利いた圖ぢやアげエませんせ」

かりぢやアありませんか」

かなめ樹の仕列垣から現はれたのが番頭の富松であつた。

「こに前、待つてゐて呉れたなゝ」

「ヱヱ、待つてましたとも、下谷の方は何でもない事ですから直ぐ片付けて了つて、先刻からあそこに、ソレ湯殿場の前に立ちづくしの空を眺めてボカアンさ、お墓と睨めつくらの鴉に糞を引かけられるなんぞア餘り氣の利いた圖ぢやアげエませんせ」

「オホ……濟まないねえ」富松は墓の前にしやがん實入を腰から取つてかちと火をすつた

爪繰る水晶の珠數の殊勝らしく唱名念佛。

「南無水月蓮夢信女、頓生菩提……ア、暑い、上から照りつけるんでやる潮がない、私も餘程物ずきだね……ア、南無阿彌陀……如命日に一回も缺かさず墓詣りをする事である。地下の眞逆今日に限つて約束を忘れるやうなこともあるまい、……南無十界唯一心一念生きた勘兵衛が既に嬉し泣をしてゐた。

六月十三日、暑い盛りである。暑いぐらひで此の大佛の日を空に過さるべきかと、お萬はいつもの如く菩提所界草門前町行安寺へ出かけた。伴は此頃抱へたばかりの新參女中に清吉といふ丁稚一人である。此の日番頭の富松も下谷邊に取引があつて、朝から店を

「隨分待たせてねえ、最う一刻拜んでゐるよ」

嬉しさうな顏を其方へ向けた。

「嘘う吐ぎなさい今來たば

星アンチツベルケン
肺病、ロク膜、氣管支、肺炎。
センソクの妙藥
子供の百日咳には速効なる事神の如し
一度は是非御試しを御願ひ致します。
定價（一圓　八錢（五日分）
三圓六十七錢（二十二日分）
元賣捌所（中三丁目郵便局隣り）
星チアンストアー

鳥の水たき
を初めました
お美味しくて勉强第一
皆樣のお越しをお待ち申ます
平町新田町川岸
鳥料理　初音
電話二二三六

七五三の御祝に
子供用品御案內
毛糸　マント
ラシヤ　マント
モヘヤ　マント
ラシヤ　オーバー
毛糸　オーバー
子供毛布
ニヘブロン
帽子各種
白毛襟卷
その他種々入荷
致しました
ツルヤ
電話百四十

貸地廣告
平町郡役所より稅務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絕對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極ぐ安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり戴けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平、出張所
電話　六〇三番　五四一番

新製品着荷御案內
優美典雅な御大典記念時計の種々着荷致しました
記念として永久的な御贈答品に最も良く値段も三圓より拾圓位迄御散歩の折柄是非御立寄御覽を願上ます
大谷時計病院
院長敬白
電話一九番

「洋服は着よく丈夫で一般むきは品質本位の正札堂」
甲乙、社員が或る會社のテーブルを圍んで
甲「いや君此の頃の不景氣には固つたね……」
乙「ウーン全く困るね、銀行は閉門だし」
甲「時に君馬鹿に良い洋服をおごつたじやないか、何處で新調したんだね色も素敵だなあ、生地も」
乙「ウーンこれか、それ君も知つてゐる正札堂さ」
甲「あアー停車場通りの乙「そーだ兎に角正札堂は平町で一番評判わいひからね……」
甲「全くだよ……評判のよひ事驚くね、どうしでだらう」
乙「それは君都々逸にも「洋服は品質本位の正札堂が着よく丈夫で誰も好く」とある樣に品が良く價が安いからだよ」
甲「成る程君は素敵な都々逸を知つてゐるね」
乙「マアー洋服は正札堂に限るよ、アハハ、、、、、、
甲「アハハ、、、、、、
正札堂

平町田町
高久病院
電話五一三番

スター好
ナフトール
着
新柄
モス着尺
新柄
ホグシ銘仙
其の外
色々取揃申候
平
亀田屋
電話五七

平町田町
赤心堂病院
電話四七五番

コボマカ
原料精選——品質佳良
特別廉價——配達迅速
多少に抱はらず御用命願上げます
電話八二七番
鮮魚仕出
吉田かまぼこ店
平町田町大通り

のんですぐきく
クノー散
神經痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、肩のコリ、其他疼痛時服用すれば奏効的確なり論より證據直ちに試みられよ
定價　二十錢、三十錢、五十錢、一圓
平町各藥店ニテ特約販賣致します

新築落成
耳、鼻、咽喉科
氣管食道科（專門）
平町南町（舊診療所向電一七〇番）
大和田醫院
大和田郡司
◆自炊の便あり

歡待
先づ　奬むるに
蜂ブドー酒の一杯を以てす
その美味と滋養……
實に
最も意義深きもの！
蜂ブドー酒
「蜂印」ブドー酒
近藤利兵衛商店

平町外七ケ村聯合品評會褒賞授與

入賞者五十五名に　本日郡役所で

平町外一町七ケ村町村農會聯合稻作增收品評會は今八日元石城郡役所に於て入賞者の褒賞授與式を擧行したが入賞者は次の如くである

▲一等湯本坂本文治▲二等夏井坂本藏重郎同湯本坂本徹▲三等平窪薬谷藤太郎、湯本八木田四平神谷木村新平、好間木田孝平、夏井大和田政保飯野渡邊廣一郎、草野高岡彦太郎、鹿島佐藤平治同門馬豊、平富岡廣之助鹿島鈴木重孝、草野鈴木宇之吉、夏井鈴木恭市、湯本小久富次▲四等平鈴木惣五郎、鹿島志賀直哉同荒川源重、同渡立忠作平窪岡部直久、夏井渡邊正好、飯野村田與吉、草野高木誠一、湯本山野彌惣吉、平窪大平政春、草野古市喜一、同小島喜久衛、好間猪狩萬太郎、平窪高田新吉、平窪西山助治、草野佐藤政治、湯本鈴木米吉、神谷西郡義忠鹿島幡武義、同木村龜之助、飯野小野榮太郎、草野江尻伊勢太郎、夏井志賀準、夏井阿部金一郎、平窪吉田甚一、飯野鈴木要吉、好間小野榮太郎、平窪黑木國一、平武田友八、飯野江尻松吉、好間木田丑吉、鹿島箱崎龜次郎、好間遠藤利吉、好間酒井誠藏、飯野鈴木福松草野大場助政、神谷中根忠治、平松崎爲吉

住吉坑の着炭と綴坑の排水復活

優良炭の採掘販賣による磐城炭礦の局面展開策

出炭制限の協定に縛られてゐる磐城炭礦では現在約五千名の勞働者を使役し一ケ月七萬六千噸（茨城を除く）宛の出炭をなしつゝあり而して此制限實行は今月中を以つて滿期となるも更に尙ほ續行されるものと觀られてゐるが同社が曩に發見された住吉坑の着炭と綴坑の排水復活つて營業成績の局面展開に關しべく過般來復舊作業中に於てあつた水沒の綴は最初大正二年水沒以來の出水が六百五十尺の竪坑々底より八十尺の深さに達したのがその後排水工事により今や坑中を以つて滿期となるも更に尙ほ續行されるものと觀られてゐるが同社が曩に發見された住吉坑の着炭と綴坑の排水復活良炭を採掘販賣する事に竪坑內壁の修理その他全般に亘つて大修理を施し來

年五月頃には一ケ月優に二萬噸の出炭を期する事容易なるべく同時にこれ亦同樣計劃の下に試鑿を開始され住吉坑は來年五月を以て着炭し將來これ亦月一萬六千噸より二萬噸內外を出炭し得る見込確實なので今後炭況が好轉し優良炭の需要が生ずるに至らば磐城炭礦では當分殆んど無制限に供給をなし得る筈である

勝地に植樹

錦村大倉青年

石城郡錦村大字大倉下青年分團では今回御大典記念事業として同郡神谷村農會試驗場分場より櫻樹苗木八十本を購入泉勝地として先月來種々施設をなしつゝある鮫川橋附近より字須賀に至る道路約七町の間に植樹する計劃成り農繁期中の暇を利用六日終了した

師走の風が身に泌み押寄る求職者の群

◆除隊兵の就職難、昨今の平紹介所

歲晚がせまつた今日此頃平職業紹介所に現はる求職者の群には自ら眞劍な必死な氣持が現れてきた何處へ行つても納まらないで轉々として職を替へ行く者や其他の不良求職者は別にして眞面目なしかむなく除隊兵を歸鄉させは昨今殊に增加した、同所では毎日十五六人平均の求職者を處理してゐるが近年に近く全部の排水を見る事の不景氣に求人側は少く今わけ同所では適當な紹介をする事が出來ず全くこまつて居る、殊に最近問題となつた除隊兵の就職難、

除隊兵の就職については陸海軍とも相當な機關を設けて就職斡旋に努めてゐるが之も近來の不況の爲めに充分な活動が出來ず止むなく除隊兵を歸鄉させるが此歸鄉者は永い間の軍隊生活の影響から歸農する者もいと傾向あり他に職を求める者が多くなつたがわけであるが之等除隊兵の多くは

特殊な技能を持つて居ない　で待遇其他一點で相當なる就職口なく除隊兵の求職については全國的な問題となつて居るだけに實際に於いて同所では此問題に弱りきつて居る

七海部長が表彰さる

內鄉村爆裂團事件第一の功勞

內鄉村爆裂團事件は其の後町署に於いて首魁西村、中村外四名に對し嚴重な取調を進めると共に送檢手續中で先ず同事件一此れを以つて一段落の形と觀られるに至つたが此の大事件の端緒を握み三十餘名の不良連を一網打盡に檢擧した第一の功勞者たる綴派出所勤務七海部長は此の程金一封を添へて中村警察部長から表彰された

密獵で御用

石城郡四つ倉町志津野菅波友次郎

石城郡四つ倉町志津野菅波友次郎は四日大浦村で無免許で網を用ゐ小鳥をとつたことつて愈々冬眠期に入りんとしてゐるが磐城軟式庭球協會では例年の如く庭球納會試合を明九日午前九時から中町九曜コートに於いて盛大に擧行する事となつた因みに當日の出場チームは次の如くである

△好間古河倶樂部

白　荒川　石井　小森山
　　佐藤　井上　松本
　　大內　安齊
　　相川　赤　富樫
　　松本　木田
　　石川　猪狩

△三井炭礦クラブ

白　大井　唐上
　　坂部　松本　赤　山西
　　相川　磯邊
　　清水　柚木

△入山クラブ

白　中崎　橋板
　　阿部　福田　越知
　　岩倉

△小久倶樂部

赤　小久　佐々木
　　比佐　伍藤

△磐炭クラブ

白　佐藤　田村
　　宇野　猪狩　赤　志賀
　　國府田
　　竹內
　　永山

△倶樂部

白　三井　根本
　　三井　鈴木　赤　吉田
　　堀
　　原田
　　小松

庭球協會納會

明日九曜コートで盛大に紅白試合

特有の空風が吹き荒れてゐる當地方は庭球、野球等の屋外スポーツからビンポン撞球等の屋內スポーツに移つて愈々冬眠期に入りんとしてゐるが磐城軟式庭球協會では例年の如く庭球納會試合を明九日午前九時から中町九曜コートに於いて盛大に擧行する事となつた因みに當日の出場チームは次の如くである

△好間古河倶樂部

白　荒川　石井　小森山
　　佐藤　井上　松本
　　大內　安齊
　　相川　赤　富樫
　　松本　木田
　　石川　猪狩

△三井炭礦クラブ

白　大井　唐上
　　坂部　松本　赤　山西
　　相川　磯邊
　　清水　柚木

△入山クラブ

白　中崎　橋板
　　阿部　福田　越知
　　岩倉

△磐炭クラブ

白　佐藤　田村
　　宇野　猪狩　赤　志賀
　　國府田
　　竹內
　　永山

△倶樂部

白　三井　根本
　　三井　鈴木　赤　吉田
　　堀
　　原田
　　小松

星翁慰靈祭

石城郡錦村で

石城郡錦村では七日現小學校の移轉二十周年記念と機かくし當時の村長にして教育の巧勞者たる星一氏の嚴父喜三太翁　同校上棟式の歸途急死し廿周年となるにそ靈を慰むべく星一氏を正賓として招待し同小學校にて今後一時より全村有志參列盛大なる慰靈祭を執行した

クリスマス

山內　芳枝

本町通りあたりを歩いてみると雰氣分と共にクリスマス氣分が日一日に濃厚になつて、美しく飾られたクリスマスデコレーションの中にサンタクロースのお爺さんが、子供たちへの

贈り物を　大きな袋に入れて立つてゐます、その袋の中は何う云た贈り物が入つてゐるでせつうか、それを今から調べてみませうクリスマスデコレーションとして第一になくてはならないものはクリスマスツリーですが、これは此頃狹い室にもふさはしい樣例へばテーブルなどの上に飾られる樣に、すつかり飾りつけになつたクリスマスツリーが出來てゐますその小ひさいものは七十錢位から大きいものは一圓五十錢位までしかし

洋風の少し大きな室になりますと人工的のものでなく、本當のクリスマスツリーを飾りたくなりますそれにはいろ〳〵の飾りつけを施さなくてはなりませんが、それは組合せになつて出來てゐます、一圓二十錢位から、六圓五十錢位までありますが、猶チンセルスツリングと云つてツリーや、室內につるす金、銀、赤、青、赤にピカ〳〵したものは一本十錢、人絹モールは箱入三本が四十錢、六本が八十錢、ガラス玉が一個廿八錢一組八十錢位から

蠟燭にも　色づけたものや模樣入の美しいものがありますこれも二十錢位からいろ〳〵あります、クリスマスベル（鐘）も紙製のものやガラス製のものがありますが、一つ十錢位からです、このツリーにそへてほしいのはハウスとサンタクロースで、ハウスは紙製のもの、又た菓子で出來たものもありますが、三十五錢位から電燈のつく樣になつてゐるもので十二三圓位まで、ハウスの形もいろいろあつて

教會の塔を高く見せたものもあります、それから五錢位からクラツカーですがこれは在來のものゝ他にいろ〳〵趣向されて人形に見せたものや、植木鉢に見せたもの、苔に形どつたもの、雪におほはれた小屋に見せたものなどいろ〳〵あります、クリスマスカードなどもあります、一體にクリスマスの贈物は理窟つぽいものより罪のない無邪氣なものが喜ばれてゐます

ハウスに立てたりして餅りますが、これは七十錢位からあります、これは大體クリスマスの飾り滿理に解決したので村會議員其の他同村有志は同日午後から平町尼子亭に於いて新巻村長の歡送迎を兼ねて一大懇親會を開催した

電工の惡事

平署に檢擧さる

湯本町字三函居住元磐炭綴坑電工稻田市之丞（四五）は去月中綴坑電工詰所にあつた銅線約十貫目代拾六圓分を窃取したのを手始めに前後數回に亘り銅線專門に荒し廻り湯本町古物商遠藤健藏方に賣却遊興に費消してゐた事發覺昨六日平署の猪狩森兩刑事の爲めに逮捕本署に拘置の上目下嚴重な取調を受けてゐるが餘罪多い見込である

夏井川鐵橋の架替工事決定

三十萬圓中第一期十萬圓で橋脚と橋臺全部

平驛の東部夏井川に架設してある鐵橋の架替工事は鐵道省の永年の懸案で現在の狀態では大型の機關車が間斷なく往復する事が出來ずなため貨物輸送の能率に影響してゐたが今回愈々架替工事をなす事になり豫算も決定し見、夏井川の管理者である、本縣加勢知事は對して工事施行に關して諸岸の關係から改修方の承認を求めた處六日正式に知事から承認の通知があつたので近く測量に着手し明春早新田町方面では來るべき御大禮直後のお正月を前に幾人か增員の計劃があるものの如く南町方面でも殆んど同樣の機運にあるといふに至つては他方面の一般とは工事として十萬圓を投じ橋脚の一部、橋臺の全部だけの取替工事を行ふ由である

平校郊外遠足

平第一小學校高等一年以下各學年全部は八日午前九時より湯本、內郷、夏井の各方面郊外遠足をなした

神谷後任村長は佐藤久三郎氏就任

昨日滿場一致で決定　多年の紛叫解決

石城郡神谷村の長村長辭任問題、まつは永い間の紛糾を續けてゐた神谷村では島岡前代議士其の他有志の斡旋で今後一時より全村有志參列盛大なる慰靈祭を執行した

月二十六日長村長は正式辭任したが既報の如くである此が此れが後任村長決定の爲め神谷村では昨七日午前九時村會召集の結果協議調定案に依る元同村消防組頭にして名望ある佐藤久三郎氏を滿場一致で後任村長と決定佐藤氏に交渉の結果快く受諾を見た斯くて長期に亘る同村々長問題も全く圓滿に解決したので村會議員其の他同村有志は同日午後から平町尼子亭に於いて新巻村長の歡送迎を兼ねて一大懇親會を開催した

あんにやさん達から

女王の如く禮讃される　エプロン孃に押され勝な　柳暗花明の種々相

罪惡の花が咲くてゐるダンスホールの設けこそなけれ、蓄音機から流るゝフォックス、トロットの好調が夜毎幾多青春の血燃ゆる男女をひきつける灯の明るいカフエーと言ふものが今や廿軒以上もある程に平町も開けたものだ、雪白のエプロンを胸高くきりとしめてあんにやさん達からさながら女王の如く禮讃されるまゝエプロン孃に押され勝な柳暗花明の種々相

王の如く禮讃されるまゝなつてゐる女給の面も濃艶怪美な處を雇ひ入れる事が最も必要な事とか何とか無鑑札のものが若干名あるとしても先年管て九十人臺かゝ白人を突破した頃から見ると、ど豪ちこれをこの方面に働く各階級の女性の數に就いて見ると平町現在の藝妓數は大小百廿五名で去年の今頃からと大差なく次ぎに南町方暗に咲く白粉の花これが警察署の調べ七十一名といふ事になつてゐてこの外水什事とか何とか無鑑札のもの一層の深刻を加へて來つた不景氣に最大原因を發したものと觀ねばならぬが女給の跋扈も亦否むべからざる原因の一つ、平町現在の藝娼妓酌婦は不景氣と女給の跳梁と茲許腹背に敵を受けてゐる形ちであるが女給を除くこれ等の總數が實に約二百四十名の多きに達しエプロン組の現在二十二名を加へるとやがて三百名に至つては他方面の一般とは大して過剩の觀なしといふ程だ以て俄に悲觀するにも當らない程豪勢なもので殊に新田町方面では來るべき御大禮直後のお正月を前に幾人か增員の計劃があるものの如く南町方面でも殆んど同樣の機運にあるといふに至つては他方面の一般とは工事として十萬圓を投じ橋脚の一部、橋臺の全部だけの取替工事を行ふ由である

內臟外科　骨關節外科　整形外科　婦人科

專門　藤本順　產科　院長　木村寅次郎

平町新川町　外科　婦人科　木村醫院　電話一六四番

生花教授

池ノ坊流　生花を懇切叮寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。

平町十五丁目通り　須藤まつの

三益玉炭のお奬め

三井物產會社ガ多年ノ研究ノ結果專賣特許ヲ得タ最モ文化的ノ木炭代用ノ高級燃料デス

□無煙無臭デ、火付ガ早ク火持チ良ク、火力ガ强ク日常ノ用ニヤキニハコヒナ便利ナ品ハアリマセン

□ソレデ値段ハ大變ニ安ク木炭ノ三分ノ一デ充分間ニ合ヒマス

□ドンナニ喰はすきらいノ人でも一度使へバ必ズ御贈ニ召スノガ此ノ玉炭ノ特長デス

壹箱	金貳圓內外
壹個	金百八十
壹段	金貳個
壹數	金貳個

御參申シ越テ次ニ御覽下サイ

平驛前　阿部石炭商店　電話二三七番

毛系

平町田町　藤田女學校隣　ハシモト屋系店

毛系　毛系

丈夫で暖い英國製毛系

一オンス　十九錢
一オンス　二十五錢

中細、極細、色數、四十種

優秀なる最新型腕卷時計

◆クローム側　白金代用側

十型　十石入　アンクル　七圓五十錢
十型十五石入上アンクル　拾壹圓
九型　十石入上アンクル　九圓五十錢
九型十五石入上アンクル　拾三圓
八型十五石入　アンクル　拾貳圓
八形十五石極上アンクル　拾五圓

◆十八金側　〔金質保証〕

十型　十石入上アンクル　拾貳圓五十錢
十型十五石入上アンクル　拾八圓五十錢
九型十五石入上アンクル　拾五圓
八型十五石入上ヤンクル　拾七圓

平町五丁目〔釜屋商店前〕　鐵道省御用　金光堂時計店　電話七三六番

かみいろづくし

◆川柳に「ロどめのたんび」に下女の情夫が殖へ」といふのがあるが、慈者にもこんなのがある、旦那一隱れてのツマミ食ひを外男に嗅ぎ出されて、最惠國條欵を許すのだそうだが、秘密を種にしての恐喝は人が惡い◆そうよホントだわッ、あゝ人ッたちいつもなんだから——ッて、サテワ千成に前もツマミ喰ひの仲間な◆いろ〳〵お前に心底惚れて〳〵惚れ拔いて〳〵惚れ拔いて〳〵惚れ拔い